

令和2年度原町区地域協議会視察研修（事務局案）について

1 視察先選考までの経過

- ・市では、原町区地域協議会の令和2年度の視察研修予算として1泊2日分の予算を確保。
- ・第2回地域協議会（7月21日開催）にて、委員に視察希望アンケートを提出するよう依頼。
- ・第3回地域協議会（8月17日開催）にて、10人の委員がアンケートを提出。

2 日帰りを提案する理由

- ・アンケートでは、日帰りを希望する委員が5人、1泊2日を希望する委員が2人だったため、1泊2日で実施した場合、参加者が少なくなることを想定。
- ・今年度の場合、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを少しでも回避するため、他市町村への滞在時間を極力短くすることを検討。

3 視察研修先の選定理由

- ・研修目的に「福島ロボットテストフィールド」をキーワードとして希望を上げた委員が複数おり、研修事項等には「人が集まる生活環境やまちづくり」、「研究と新産業創出」、「移住・定住者人口の増加」などのキーワードも併せて記載されている。
- ・本市では今後「福島ロボットテストフィールド」を核としたまちづくりの構築を進めていくところであり、このような研究開発拠点施設がどのように地域に対して貢献しているのかなどを先進地から学ぶことは有益であると判断。
- ・このことから、研修先については、宇宙、科学、建築、防災、気象、農業、エネルギーなど、幅広い分野の研究施設が立地する、国内最大の学術都市、つくば市を選定。

4 視察施設の選定理由

- ・つくば市では、50を超える研究施設等での視察が可能。
- ・ただし、今年度の場合、新型コロナウイルス感染症の影響により、ほぼすべての施設で案内（ガイド）を置かず自由観覧としており、研修目的で各施設の理解を深めることは難しい状況となっている。
- ・このことから、つくば市科学技術振興課に本市の地域協議会の役割や視察研修の目的を伝え相談。次の施設が紹介され、現地ではつくば市職員も案内（ガイド）として就いてもらうこととなった。

研修施設 つくば産業振興センター（つくばスタートアップパーク）

- ・当該施設の中で、視察及び施設の説明のほか、現在つくば市が取り組んでいる「つくば市スタートアップ戦略」に対する説明を受ける予定。